

## 宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	障害福祉課
事業番号	2-1	事務事業名	重度障害者福祉タクシー料金等助成事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

### 【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代変化により、事業が役割を終えている、又は役割が小さくなっている。
			④ 事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			⑤ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑥ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑦ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑧ その他
6	見直しが必要	1	① 事業規模(サービスの受給者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		4	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		4	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
1	現行どおり	1	① 現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
			② 事業を拡充する必要がある。

### 【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① タクシー・ガソリン券に区切ることなく統合された助成を考えても良いのではないか。</p> <p>② 他事業の統合も含めた検討。</p> <p>③ 障害者の社会参加を促す諸方法をトータルとして考慮すべき。</p> <p>④ 他の制度を含めて一元的に支援できる施策が考えられるのではないか。</p> <p>⑤ 目的を達成するために対象や手段を見直してもいいのではないか。</p> <p>⑥ 事業規模は同じでも、もっと効果を重点化しきっかけでなく本当に社会参加につなげるように。</p>	<p>⑦ 使い勝手に気を配ってほしい。タクシー券であれば障害者が乗るイメージができるが、ガソリン補助では、障害者の移動に結びつきにくく思える。利用回数が少ない人にとっては、額面を増やすなどの考えがあってもいい。</p>